

事務局だより



■ 平成26年度12月16日 第3号 ■

第38回岩手県養護教諭研究大会 報告 (11月13日開催)

本大会は、11月13日(木)に572名の会員及び一般参加者、大会関係者で行うことができました。

講演や班別研究協議会における活発な研究協議に心より感謝申し上げます。

おめでとうございます

祝「岩手県学校保健功労者表彰」

受賞 **渡邊富美子 先生**

- 岩手県学校保健会養護教諭部会 元会長
- 平成27年1月8日(木) 第50回岩手県学校健康教育究大会 席上にて表彰予定

※本部会より、祝花をお届けします。



第7回実践研究に関する研修会報告 (9月27日開催)

9月27日(土)岩手県立大学 アイーナキャンパスにて第7回実践研究に関する研修会を開催しました。講師に埼玉大学教育学部学校保健学講座 教授 戸部秀之先生をお迎えし、埼玉県学校保健会で行ったICT機器の使用に関する実態調査を基に、アンケート作成のポイント、データのまとめ方と分析、見て分かりやすい指導資料の作成と活用について、実際の作成の流れに沿って具体的にご指導をいただきました。参加人数は少なかったのですが、参加者の満足度は高くとても有意義な研修会となりました。詳しい研修

内容については、研究集録・部会誌「ようご岩手」をご覧ください。

平成27年度 第8回実践研究に関する研修会も「養護教諭がおこなう実践研究のまとめ方」(予定)として戸部先生にお願いしています。会員の皆様にはぜひ積極的な参加をお願いします。

《参加者の感想より》

- ・優しい話し方で、緊張せずお話を聞くことができました。
- ・内容一つ一つに納得し、親への説明の仕方を考えていこうと思いました。
- ・手の届く所に丁寧にゆっくりと講義を進めていただきありがたかったです。



平成27年度 岩手県立大学 前期科目履修講座の申し込みについて

■募集要項と科目：平成27年1月末～2月にHPに掲載されます。■受講申し込み：2月末となっています。各自で行ってください。

東日本大震災支援対策委員会 11月の活動より

●第38回岩手県養護教諭研究大会で各校の災害に対する取り組みを紹介しました●

11月13日(木)に行われた第38回岩手県養護教諭研究大会で、昨年に引き続き東日本大震災支援対策委員会の展示ブースを設けました。

『地区・学校で災害に備えて取り組んでいる活動』や『災害に備えて用意している物品』について、1つの地域、小学校2校、中学校1校、高校2校、特別支援学校1校の養護教諭の先生方から紹介いただきました。

また、10月に行った野田地区への学校訪問の様子も展示しました。



多くの方に見ていただきました

取り組みを紹介いただきました

特別支援学校です。日常的に服薬が必要な児童生徒が多いため、薬の管理や医療機関にスムーズにつながる手段を確認しています。

高校で、生徒発案の集中豪雨を想定した避難訓練を実施。地域の防災リーダーとなるよう救護訓練も行っています。

保健室の備えの見直しと救急用品の表示をしました。

非常持ち出しリュックを用意しています。

職員室と各教室に「防災バック」を常備しています。職員室の緊急用品(投光機、ラジオ、懐中電灯、誘導灯等)は、緊急時以外は使用禁止にして管理しています。

●東日本大震災支援委員会研修会並びに交流会を釜石地区で開催しました●



11月28日(金)に、釜石地区で29名の方に参加していただき、研修会並びに交流会を実施しました。

講師の未来の風せいわ病院 養護教諭 多田淳子先生に「こころの危機をのりこえるために～養護教諭のためのセルフケア～」と題し、講演をしていただきました。

講義のほか、呼吸法や体を動かす演習もあり、和やかな雰囲気となりました。

交流会では、ワールドカフェという手法を教えていただき、楽しく充実した時間となりました。

☆参加した方の感想より☆

- ★初めてお聞きする内容もあり、大変参考になりました。
- ★様々な技法を教えていただき、気にかけている子どもと一緒に使おうと思いました。
- ★ワールドカフェでお聞きした、先生方の工夫が参考になりました。とてもほっこりした時間を過ごし、養護教諭同士の交流ができて良かったです。



ワールドカフェ開催中!

(文責: 本委員会副委員長 石橋寿子)